**【書式】間接強制申立書（不代替的作為義務の場合）**

|  |
| --- |
| **間接強制申立書**  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　収　入  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印　紙  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日  　　　　地方裁判所　　　　　　　　　御中  　　　　　　　　　　　　　　　債権者代理人弁護士　○　○　○　○　印  　　　　　　　　当事者の表示　別紙当事者目録記載のとおり（※省略）  　　　　　　　　　　　　　　　　申立ての趣旨  １　債務者は、○○（債務名義表示の不代替的作為義務を記載）しなければならない。  ２　債務者が本決定送達の日から○日以内に前項記載の義務を履行しないときは、債務  　者は債権者に対し、上記期間経過後の翌日から履行済みまで１日につき金○○万円の  　割合による金員を支払え。  　　　　　　　　　　　　　　　　申立ての理由  　債務者は、債権者に対し、下記事件の執行力ある債務名義の正本に基づき、申立ての  趣旨第１項のとおりの義務があるにもかかわらず、これを履行しないため、債権者は、  損害（別添報告書参照）を被りつつある。そうすると、支払予告金は、別添報告書記載  のとおり、申立ての趣旨第２項記載の金員とするのが相当である。  　よって、申立ての趣旨記載の裁判を求める。  　　　　　　　　　　　　　　　　　　記  　○○地方裁判所　平成・令和○○年（ワ）第○○○○号  　○○請求事件の判決  　　　　　　　　　　　　　　　　添付書類  １　執行力のある判決正本　　　　　　１通  ２　上記送達証明書　　　　　　　　　１通  ３　損害見積書　　　　　　　　　　　１通 |